

「幸水」のシアナミド散布適期情報

令和8年2月3日

シアナミド液剤は、なしの発芽（開花）促進に効果がある薬剤です。十分な効果を得るためにには、適期に散布する必要があります。農試圃場（金沢市才田）における適期は、次のように予測されます。

シアナミド液剤の散布適期 1月23日～2月24日

※1：散布最適期は2月1日～2月14日（DVI値1.8～2.2）です

※2：散布適期は今後の気温により変わるので、気象予報等を参考に判断します

※3：散布適期は、気温が低いと短く、気温が高いと長くなります

※4：昨年の散布適期は1月22日～2月28日でした

散布時の注意点

- 樹勢が弱い樹は薬害（芽枯れ）を生ずる恐れがあるので散布しないで下さい。
- 十分な効果を得るには散布した薬液が完全に乾く必要があるので、降雨等がない日を選んで散布して下さい。
- 散布方法など不明な点は、お近くの農林総合事務所へお問い合わせ下さい。

シアナミド液剤（商品名：CX-10）の農薬登録情報

| 作物名 | 栽培方法 | 使用方法 | 使用回数 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | シアナミドを含む農薬の総使用回数 |
|-----|-------|------------|------|------|----------------|------------|------------------|
| なし | 施設、露地 | 立木全面散布 | 1回 | 10倍 | 150～200ℓ / 10a | 収穫・落葉後～発芽前 | 1回 |
| | | 結果枝、発育枝に散布 | | 15倍 | — | | |